

報告書 REPORT



平成30年度 アセアン中学生 招聘交流事業



■事業趣旨

日本とアセアン加盟国青少年の国際交流を通して、グローバル社会に対応した高い国際感覚を備えた青少年を育成する。

■実施関係機関

主催 国立青少年教育振興機構

協力 アスジャ・インターナショナル、アスコジャ

■招聘期間・受入施設

日程 平成30年11月19日(月)～11月27日(火)8泊9日

受入施設 国立中央青少年交流の家(静岡県)

■参加者

招聘者 アセアン加盟国5カ国の中学生及び引率者 35名

(ラオス、ミャンマー、シンガポール、タイ、ベトナム)

中学生 各国6名(平成14年4月2日～平成17年4月1日生まれの者)

引率者 各国1名

日本人 国立中央青少年交流の家が募集する中学生、高校生

日付	内容
11月19日	参加者到着 オリエンテーション 成田山新勝寺見学
11月20日	国立中央青少年 交流の家へ移動 日本文化体験(折り紙) ウェルカムパーティー
11月21日	市長表敬 富士樹海散策 日本文化体験(扇子づくり)
11月22日	中学校訪問 ホームステイ
11月23日	ホームステイ 日本文化体験(餅つき)
11月24日	ディスカッション 野外炊事
11月25日	学習発表会、 フェアウェルパーティー 小田原城見学 都市へ移動 (新幹線体験)
11月26日	スイカツリー見学 浅草散策 皇居見学 秋葉原散策
11月27日	出国

市長へ表敬訪問を行いました。市長から御殿場への歓迎と、滞在期間がより良いものになるようにメッセージを頂きました。



富士樹海散策では2時間ほど樹海の中を歩きました。途中ガイドの方から、樹海の成り立ちなどの説明を受けました。

日本文化体験の一つとして「餅つき」を行いました。うすと杵を使い、参加者全員で餅をつきました。ついた餅は全員で食べました。



都市での活動の一つとして浅草を訪問しました。浅草寺の見学や、各国ごとに仲見世の散策を行うなど、楽しい時間を過ごしました。

中学校訪問

中学校訪問では各国ごとに文化の紹介を行った後、2人1組で各クラスに入り1日授業体験を行いました。最後に校庭でスポーツ交流会を行い、在校生とアセアン中学生のきずなが深まりました。



タイの参加者が舞台上で踊りを披露する様子



2人1組で各クラスに入り、授業を体験しました。



スポーツ交流会では、大縄跳びやリレー競争などを行いました。

ディスカッション

はじめに各国の文化を紹介した後、SDGsの「4. 質の高い教育をみんなに」をテーマに、それぞれの国が抱える問題とその解決策について話し合いました。



自国の文化を紹介する日本人参加者



円卓を囲みディスカッションを行いました。



テーマに関して自国が抱える問題について発表しました。

フェアウェルパーティー

アセアン参加者が各国の文化を紹介すると、参加者から大きな拍手が巻き起こりました。参加者はホストファミリーと一緒に食事を取りながら、楽しいひと時を過ごしました。



日本人参加者もアセアン各国の踊りに挑戦しました。



スライドショーでは笑い声や、涙する姿が見られました。



最後はお互い涙ながらのお別れとなりました。

ホームステイの様子

30人のアセアン参加者は18組のホストファミリーに分かれ1泊2日のホームステイを行いました。どの家族ともそれぞれ楽しい思い出ができました。



一緒に夕食作りを行いました。写真は「たこ焼き」をつくった様子



ホストファミリーと一緒に、ボーリングに行ったり、ゲームをしたりと、楽しい時間を過ごしました。



紅葉がきれいな場所や地元の名所などへもホストファミリーと一緒に行きました。

日本人参加者の活動

日本人参加者は当日ディスカッションや交流を行うだけでなく事前研修や事後学習を行いました。事前研修ではディスカッションの準備や、ウェルカムパーティーの準備を行いました。



ウェルカムパーティーにて英語で歓迎の挨拶をする様子



日本文化の紹介でソーラン節を披露する様子



アセアン参加者と一緒に野外炊事でカレーを作りました。

アセアン指導者からの感想

- ◆ 御殿場市立原里中学校訪問でアセアン参加者が日本の中学生たちと仲良く遊んだり、授業を受けたり、一緒に給食を食べたりしている楽しそうな姿を見ることができ、本当に嬉しかったです。
- ◆ ホストファミリーは自分の子供みたいに大切にしてくれありがたかったです。
- ◆ 富士山のそばで生活できて、素晴らしい体験でした。
- ◆ 国旗の掲揚、ラジオ体操、みんなで食べる食事や日本のお風呂体験など、自然の家での生活がとてもよかったです。
- ◆ 日本語や日本文化についての活動を通して、アセアン参加者が日本について色々勉強できたと思います。

新聞掲載

御殿場市立原里中は、22日、同市に滞在しているASEAN諸国の生徒30人と一緒に授業を受け、給食を食べるなどして親睦を深めた。

「じゃんけん列車」で交流
御殿場
原里中に東南アジアの生徒

御殿場市立原里中は、22日、同市に滞在しているASEAN諸国の生徒30人と一緒に授業を受け、給食を食べるなどして親睦を深めた。

生徒会企画した歓迎セレモニーでは、じゃんけん列車で交流。最初は硬い表情だったが、音楽に合わせて体を動かし、勝った喜びや負けた悔しさを共有するうちに打ち解けていった。来訪した生徒が、各国の伝統舞踊や歌を披露した。

じゃんけん列車を楽しむ生徒たち＝御殿場市立原里中

は、国際感覚を備えた人材育成を図る国立青少年教育振興機構の招聘（しょうへい）交流事業で来日した。21日には若林洋平市長を訪ねた。25日までの同市滞在は、一般家庭でのホームステイ、伝統や教育をテーマにした討論を行う。

平成30年11月23日 静岡新聞

本事業は静岡新聞の他に、2紙の新聞にも掲載されました。